

公共施設マネジメント会議について (第1回資料)

令和3年7月28日(水)
宮代町 企画財政課

第2期公共施設マネジメント計画の基本的な視点

公共施設を同規模で維持していくのは現実的ではない



縮小していく社会の中では公共施設の新モデルが必要



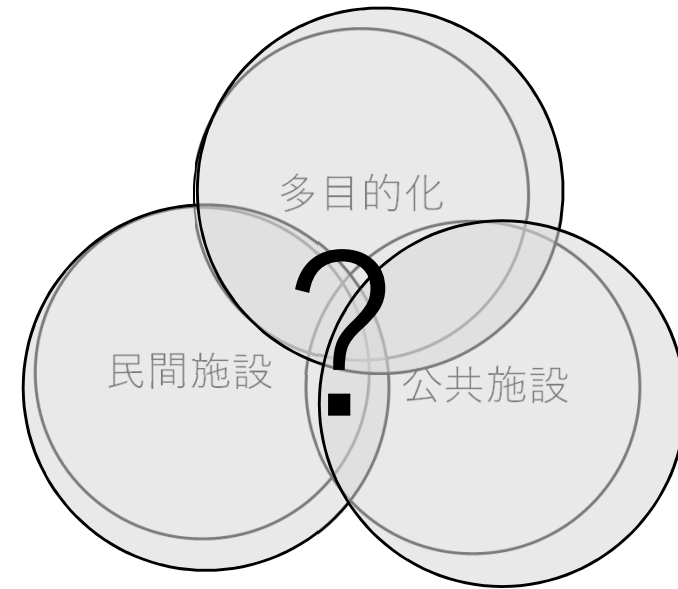
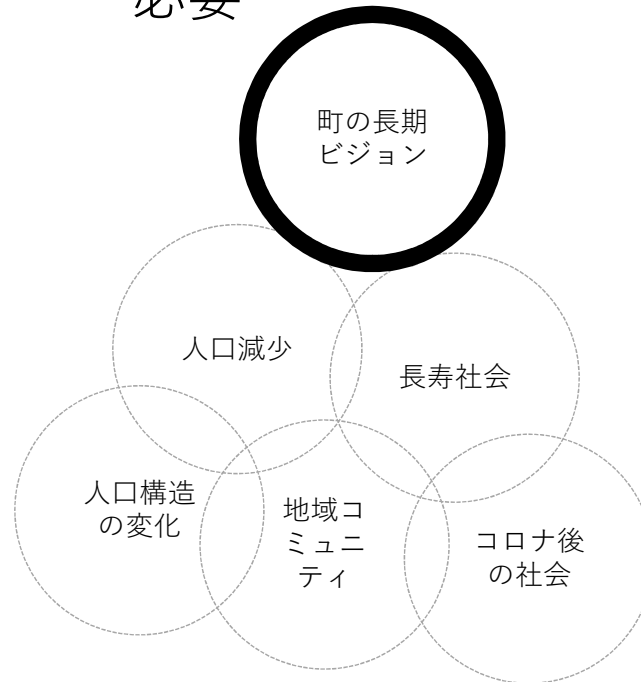
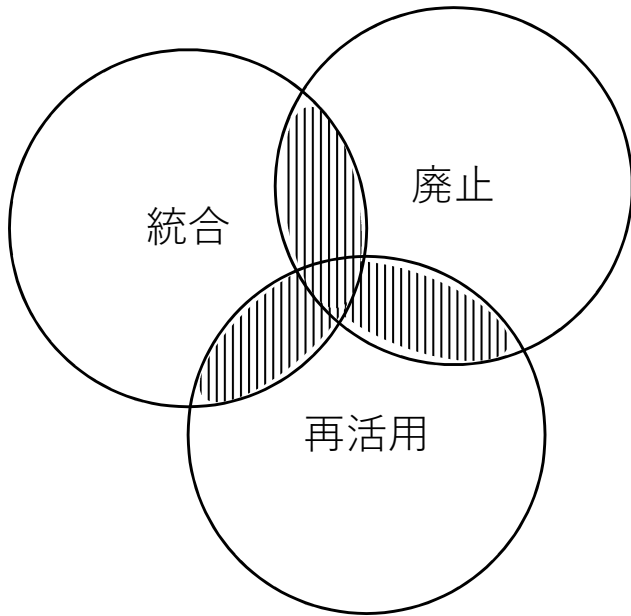
新たな機能へ転換

民間力、市民力の活用

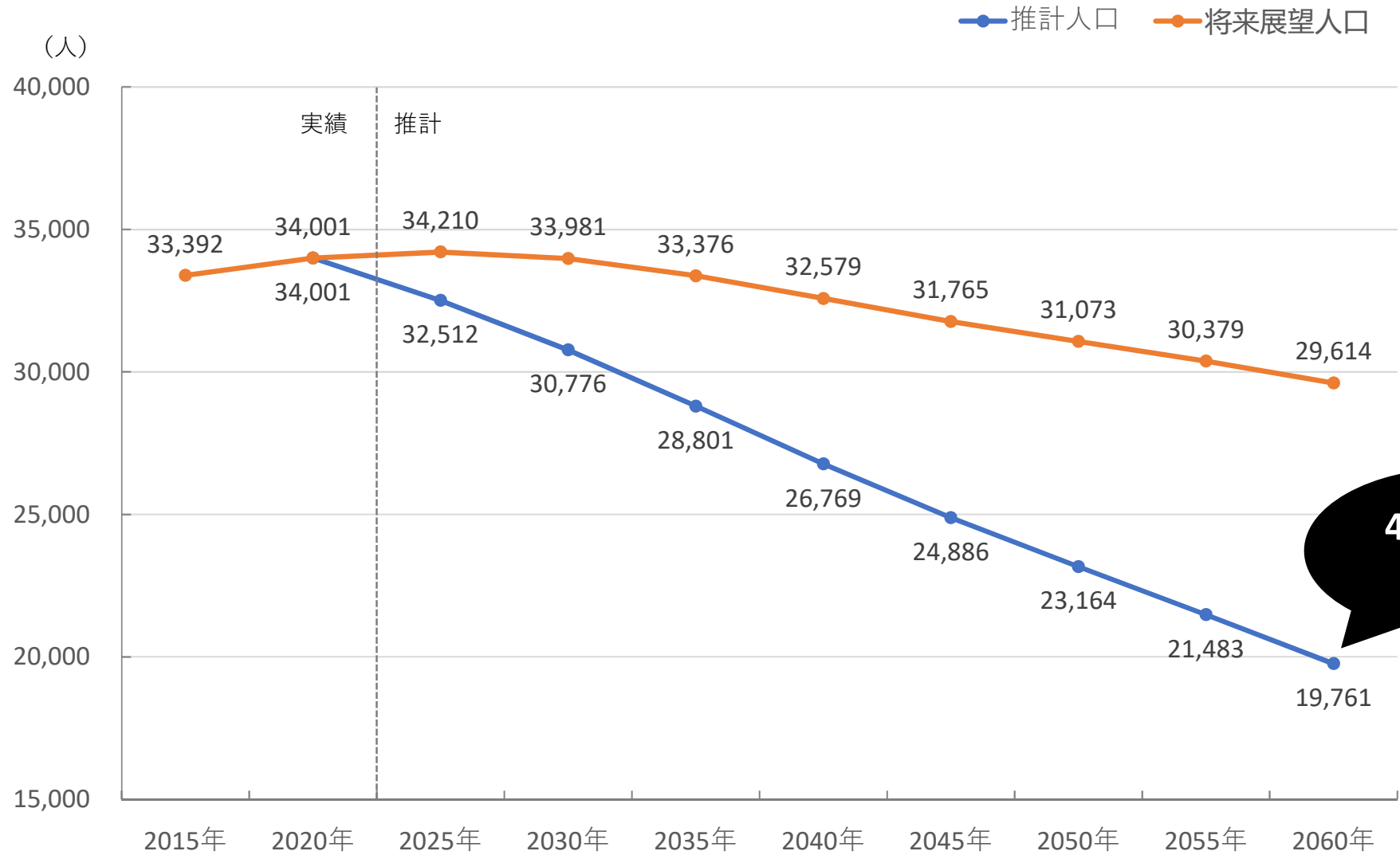
新たな行政ニーズへの対応

住民サービスの向上

ランニングコスト減

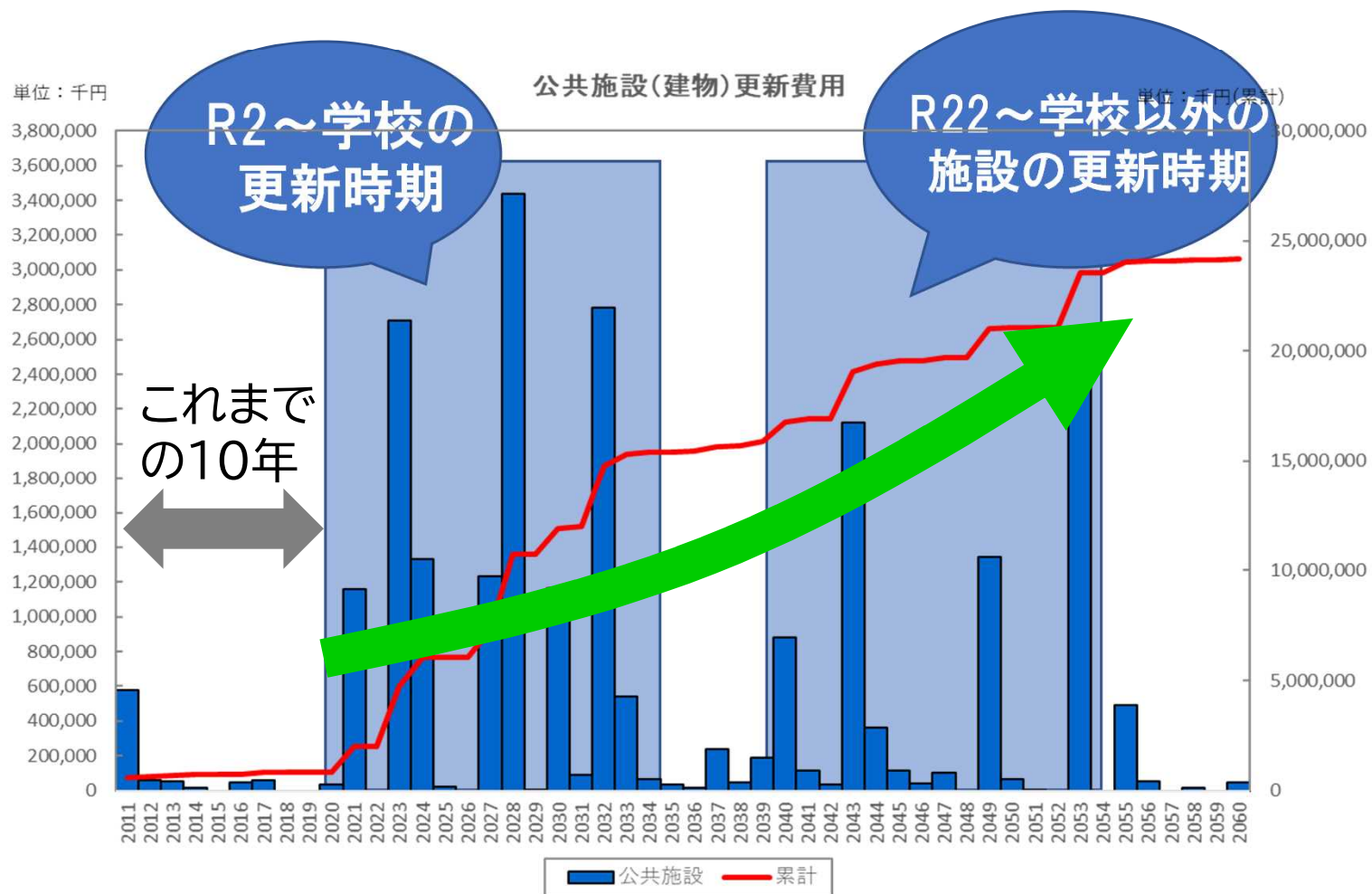


推計人口と将来展望人口



公共施設の更新時期と更新投資額

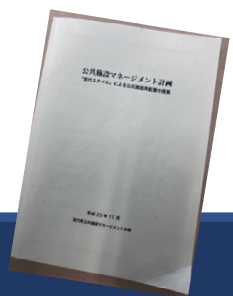
平成22年東洋大学調査



少子高齢・人口減少社会では、
公共施設を今までと同じ規模で建て替える必然性はない。

そこで、これまでの10年間

このような状況の中、公共施設はどうあるべきか、そのあり方を示し、実際に取り組んできた。



H23.11 公共施設マネジメント計画



H23~R2 第4次総合計画実行計画

1 老人・児童福祉施設の見直し

▶ ふれ愛センター廃止(H25.4)

社会福祉協議会に貸与

維持費 年5000万円減

福祉交流拠点すてっぴ宮代として機能転換



※維持管理経費は、社会福祉協議会が負担

2 体育施設の見直し

▶ いきがい活動センター廃止(H27.6)

私立昌平高校へ貸与(町民利用可)

シルバー人材センター事務所

維持費 年900万円減



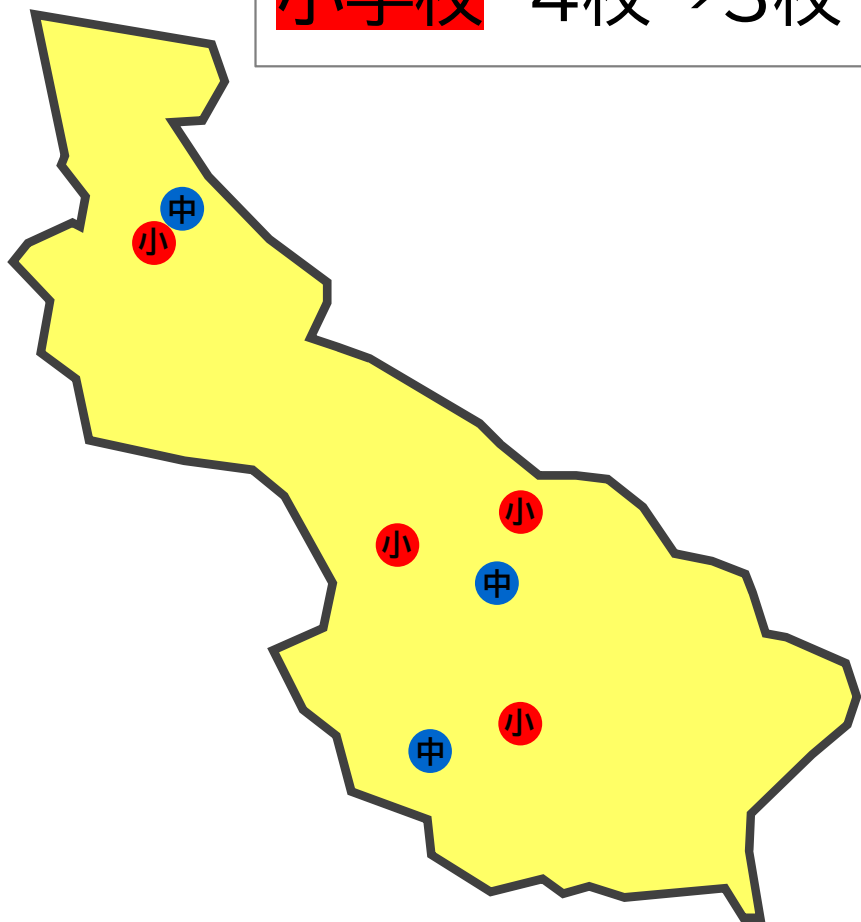
※維持管理経費は、私立昌平高校が負担

3 学校施設の見直し

▶ 小中学校適正配置計画の策定(H28.5)

中学校	3校→1校
小学校	4校→3校

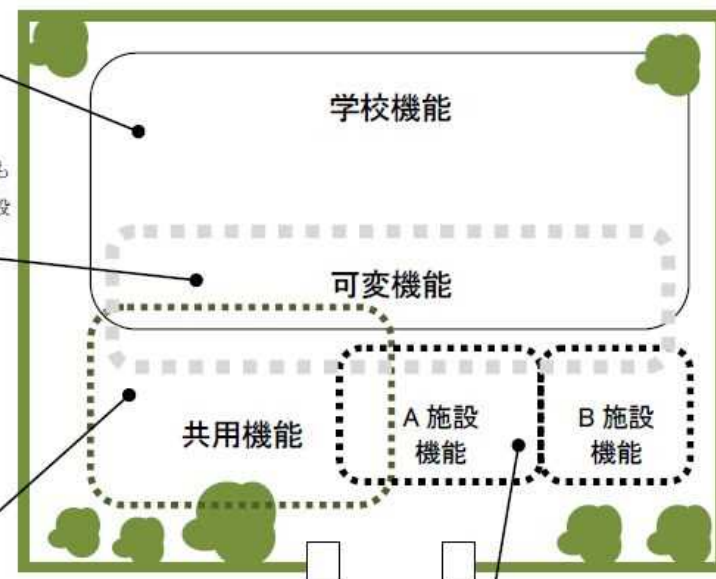
しかし... H28.12
慎重な取り組みを
求める請願(町議会)



*施設の中心は「学校機能」です。

*将来児童・生徒数の変動があった場合でも機能転換が可能な仕組み(可変機能)を設けることで改修コストを抑制します。

*学校機能とコミュニティ施設と共用するスペース(共用機能)により、効率化と交流機会の確保を図ります。



*ここに、地域コミュニティのための施設機能(A・B)を併設します。

これからの10年間についても

同様に、更新を迎える施設についてどうあるべきか、その道筋を示す必要がある。

施設名	更新までの年数
百間公民館	△10
川端公民館	△10
和戸公民館	△4
新しい村	2
保健センター	2
役場庁舎	6
進修館	9
郷土資料館	9

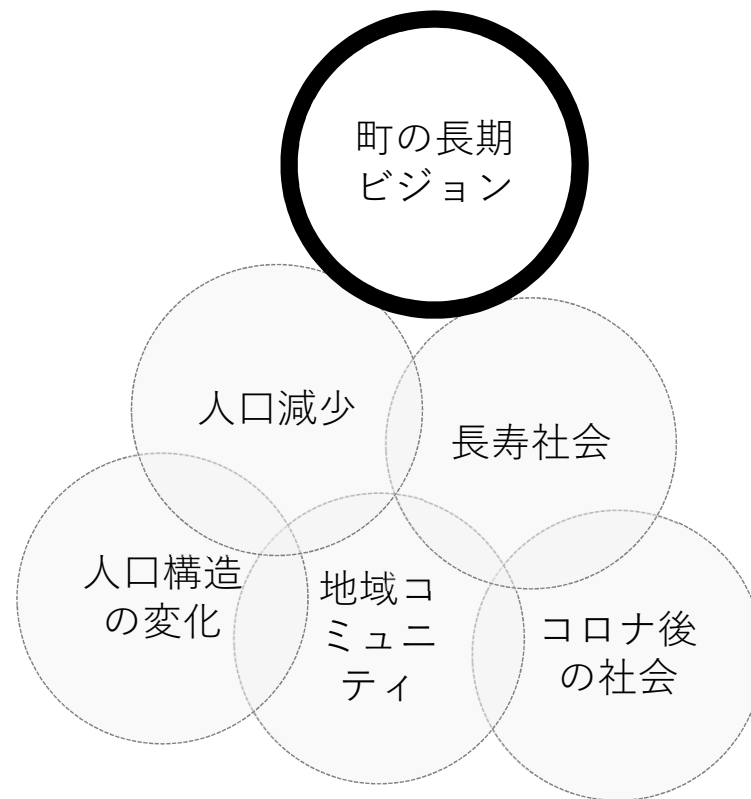
施設名	更新までの年数
国納保育園	16
学校給食センター	19
町立図書館	22
ぐるる宮代	22
はらっパーク宮代	29
公設宮代福祉医療センター	32
みやしろ保育園	32

※税法上の耐用年数が到来するまでの年数です。

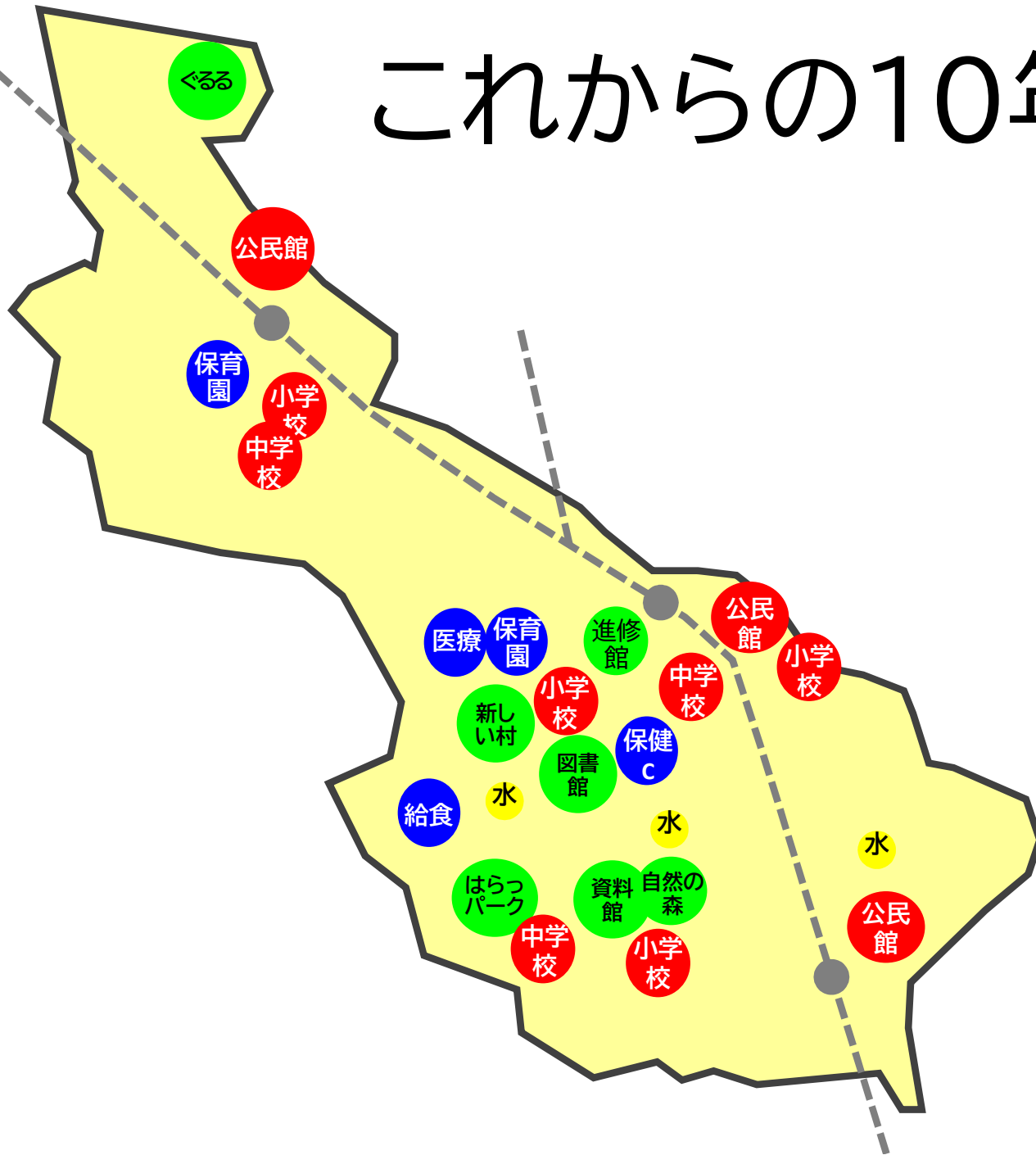
(鉄筋コンクリート造50年、鉄骨造30年、木造22年)

この委員会では、

維持管理経費の縮減というだけでなく、むしろ、縮小していく社会の中で町民の日常を支えていく「**公共施設の新しいモデル**」の検討を行う。



これからの10年、どうする？



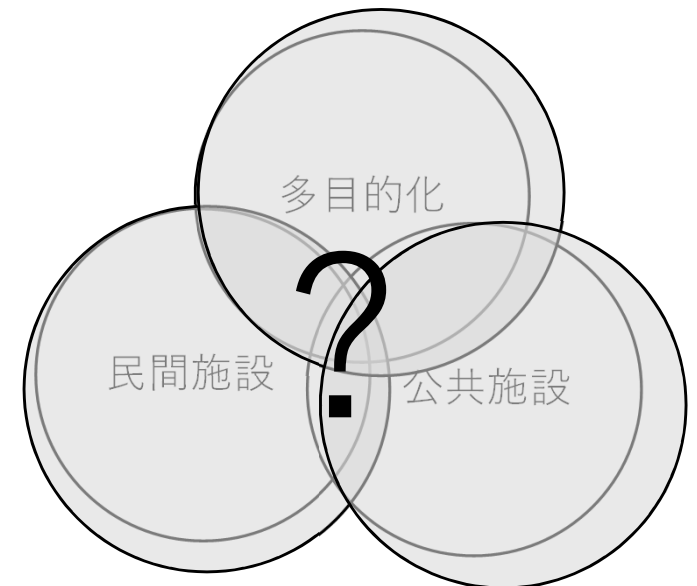
新たな機能へ転換

新たな行政ニーズへの対応

民間力、市民力の活用

住民サービスの向上

ランニングコスト減



今後のスケジュール

7月 第1回会議 会議の趣旨、施設の現状等

8月

現地視察（2回）

9月

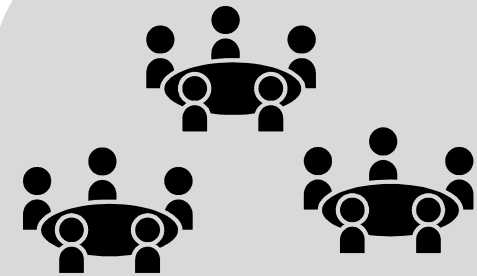
市民ワークショップ

10月 第2回会議 現地調査・WS結果の検証

11月 第3回会議 新たな再編モデルの構築

12月 第4回会議 新たな再編モデルの構築

12月 第5回会議 委員会報告書について



・市民の声を聴く

第2期宮代町公共施設マネジメント計画策定

会議の運営等について

会議、会議録の公開について

- ・ 市民参加条例に基づき、会議、会議録は公開

※会議録は会議後2週間以内に公開するルールがあります。

※公開のため、傍聴者がある場合もあります。

【会議録の確認について】

会議録を1週間以内に作成し、皆さんにメールまたは郵送します。修正が必要な場合はご連絡ください。会議録の確認を一任いただける場合は、のちほどお知らせください。